

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	砂防防災講演会	事業経緯	新規	実施体制	実行委員会	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

従来の理工学的見地からの講演とは一線を画し、常願寺川流域の人々の暮らしが飛越地震以来どう変わったか、防災に対する意識の変化、砂防事業が暮らしにもたらした効果、日常の暮らしと防災、といった防災意識の地域住民への浸透を図る。また、立山砂防をベースとし、世界文化遺産への取り組みとも絡めることでより理解が深まることを期待する。さらに、活動を通じて砂防に造詣の深い人材の育成にも資する。

2. 事業実施体制

主催：「防災講演会in立山町」実行委員会
 NPO法人日本防災士会、富山県防災士会、(一社)北陸地域づくり協会、
 立山・神通砂防スペシャルエンジニア、立山山麓防災・安全対策協議会、
 立山砂防女性サロンの会
 後援：国土交通省立山砂防事務所、富山県土木部砂防課、立山町
 協賛：建設・防災関連団体8者

3. 事業実施概要

■カルデラ視察

日時：平成27年8月25日(火) 7:30～18:00
 場所：立山カルデラ内
 参加者：富山県女性管理職 20名

■防災講演会

日時：平成27年12月13日(日) 10:00～12:15
 会場：立山町交流ステーション「みらいぶ」
 プログラム：
 基調講演「最近の土砂災害の実態について」
 西山 幸治(国土交通省水管理・国土保全局 砂防部長)
 体験報告「震災から4年目の南三陸町」
 工藤 望(社会貢献共同体 ユナイテッド・アース)
 活動報告「富山県防災士会の活動について」
 荻生 喜美恵(NPO法人日本防災士会 富山県防災士会)
 参加者：160名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

明治39年以降続けられている立山砂防事業によって歴史的砂防施設群が築かれ、これらが世界文化遺産に登録されたあかつきには、わが国の砂防技術が世界に伝わり人類の発展に大いに貢献することが期待される。
 その基礎として、地域住民に立山砂防事業の歴史や現状を伝え、事業の必要性や防災意識の向上を訴求する啓蒙活動を行い、問題意識の共有化を図っている。そして、土砂災害、砂防、防災に対する理解が深まることで、安全・安心な地域づくりがより一層進むと考えられる。
 複数の防災ボランティア団体が協力し開催、参加者が集うことで交流の場となり、平時からのボランティア同士の協力体制強化も期待できる。



カルデラ視察



防災講演会

